

6

No.518  
JUN.2014

# 茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email [info@ikk.or.jp](mailto:info@ikk.or.jp)

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協

## CONTENTS

- 01 青年経営研究会・ベトナム視察  
「ベトナムの熱気を肌で感じる～第9次海外視察研修～」
- 05 委員会報告  
労働企画／青年経営研究会
- 06 支部だより  
水戸／県西
- 07 6月は環境月間です～会員企業の環境事業～
- 10 大学への寄付講座  
「企業経営はソーシャルシフトへ」  
株式会社カスミ 常勤監査役 内田勉氏  
「ウェディング業界・接客業で働くということと求められる資質」  
ラ・フォレスト・ディ・マニフィカ 支配人 岡部成昭氏  
「スパリゾートハワイアンズの挑戦」  
常磐興産株式会社 顧問 坂本征夫氏
- 13 『会員増強運動2014』の状況 5月も順調に新会員が増加
- 15 新入会員紹介
- 17 数に込められた思いと意味③<葛田一雄>  
「人づきあい」
- 19 県内NPO情報Vol. 164<横田能洋>  
「地域貢献の新たなトレンド」
- 20 セミナー・事業等のご案内

## 「ベトナムの熱気を肌で感じる

### ～第9次海外視察研修会～

青年経営研究会(会長 関正樹氏 関彰商事(株)代表取締役社長)は4月2日(水)～5日(土)の間、昨年9月で日本との国交樹立40周年を迎え、近年、日系企業の進出が著しいベトナムを訪問した。参加者数は17名。

#### 視察スケジュール&行程

##### ◆初日【4月2日(水)】

一行は羽田空港より午前10:35発のキャセイパシフィック航空にて出航。4時間半程かけて香港国際空港に到着。さらに便を乗り換え、1時間40分程かけてホーチミン空港に到着。

途中悪天候により香港国際空港にて待機したため、ホーチミン到着後に予定していた“ベトナム市場”見学は翌日へスライドさせることとなった。



ホーチミン中心街、高層ビルが立ち並ぶ

夕食をホーチミン市内のベトナム料理店で済ませ、視察期間中に宿泊する“グランドホテルサイゴン”へ到着。

##### ◆二日目【4月3日(木)】

※ホーチミン市内

訪問先①(午前)：JETRO

ホーチミン事務所

対応者：主任研究官 志摩紘一氏

#### 【政治・経済について】

ベトナム国民の平均年齢は27才。街を歩いてもバイクの多さと若い世代が目につく。日本の平均年齢は45才なので、その差は歴然。街も活気に溢れており、“これから成長していく国”であることを実感する。人口は

9,100万

人程で、主要都市は北に所在する首都で政治の街“ハノイ”と、南に所在する経済の街“ホーチミン”。両都市は商圏も分断されており、文化的な交流も殆どない状況とのこと。ハノイ～ホー

チミン間は鉄道で35時間の距離。日本とベトナムの時差はマイナス2時間。

ホーチミン市内では、つい先日イオン第一号店がオープンし大変な盛況であるとのこと。その他、ホーチミン市内には日本のコンビニや食品メーカーの進出も進んでいる。

ベトナムは表立っては生活し辛いなどの問題はないが、共産党一党独裁による社会主義国家の影響は、土地の収用問題や商習慣など所々に見受けられる。



JETROホーチミン事務所にて

#### 【日本との関係】

日本からの投資件数は2009年度102件に対し、2012年度は317件となるなど、ここ数年で3倍近くに増加している。他では韓国からの投資件数が急激に増えている。日本企業の場合、事前に駐在員を派遣するなど念入りな現地調査を実施した上で

投資を進めるが、韓国ではこの調査過程を省いて投資を決断している印象を受ける。

日本の二国間政府開発援助(ODA)の拠出先のトップはベトナムであり、金額も他国に比べ突出している。ベトナム国民が抱く日本の印象は悪くなく、性能が良く長持ちする日本ブランド製品の評価が日本のイメージアップに直結していると語られた。

ベトナム投資のメリットとして、勤勉で若く安価な労働力の確保や、将来の市場としての期待があげられる一方で、賃金の上昇(ここ数年は毎年15～16%ずつ上昇)やインフラ整備スピードの遅さ、法制度規制があいまいで拡大解釈が横行し“袖の下”といった商習慣が課題だと考えられる。

訪問先②(午前)：カイゼン吉田スクール(エスハイ運営)

応対者：エスハイ(株)代表取締役 レロンソン氏

2006年設立。ベトナム人の人材教育・研修事業や技能研修生の派遣、技術者・高度人材の

紹介、ベトナム進出企業のコンサルティングを手がける。

代表のレロンソン氏はベトナムで大学を卒業後、1995～2000年の間、日本での留学経験をもつ。日本の技術や文化を自国ベトナムで活かしたいとの思いが、現事業を立ち上げるきっかけとなる。

レロンソン氏は「技術はもとより、留学当時から感銘を受けているのが日本の企業を支える“人財”の存在。カイゼン吉田スクールでは、日本の人材育成手法を取り入れ、ベトナム人を日本の企業に受け入れていただけるよう日々教育に取り組んでいる。ベトナム人の性格・気質と日本人は似ており、協働し易いこともメリットだと感じている。ベトナムの課題はやはり“教育”であり、高度な技術や設備がいくらあっても、

それを活かす知識や能力がなければ無駄になってしまう。国際社会で活躍できる優秀な若者を一人でも多く輩出できるよう、またベトナムと日本の交流促進にも寄与していきたい」と挨拶があった。



参加者との質疑の模様



将来の夢を語るスクール生

一行は、実際にカイゼン吉田スクールの授業を見学。1クラス20名程の編成で、6クラス程の授業が行われていた。生徒は20代前半の男女が中心で、元気な挨拶や礼儀正しいお辞儀などマナー教育も徹底されており、一行は拍手で迎えらるなど盛大な歓迎をうけた。クラスでは日本語はじめ、日本でのビジネス習慣などを指導していた。視察団と生徒達との質疑の時間も十分割いていただき「なぜ日本企業で働きたいのか?」「将来の夢は?」といった質問に対し、生徒からは「日本は優れた製品やサービスを生み出しており、学ぶべきことが沢山ある」「将来はベトナムに戻り、学んだことを活かしてベトナム



挨拶するレロンソン社長

の産業発展に貢献したい」といった回答が寄せられるなど、個々人の意識の高さや真面目で積極的な姿勢に一行は大変感銘を受けた。

**観光①(午後)：戦争証跡博物館**

二日目の午後、一行はホーチミン市内中心に所在するベトナム戦争の歴史が綴られた戦争証跡博物館を訪れた。建屋は3階建てで、屋外には実際に戦時中使用された戦闘機や戦車、また刑務所や拘置所・処刑台の一部が再現され展示されている。屋内では、戦争の恐怖に戦慄く人々や犠牲になった方々、また枯葉剤が人体へ影響を及ぼした生々しい写真などが数多く展示されており、戦争の悲惨さを改めて実感する機会となった。

**観光②(午後)：ベントアン市場**

博物館見学後、初日の夕方に訪問予定だったベントアン市場を見学。1914年に伝統様式により建設された巨大な堂(およそ1万平方メートル)の中に2千軒を超える個人商店が立ち並んでおり、イメージとしては上野アメ横商店街よりも店舗間・通路幅が狭くひしめきあった状態。観光客向けの土産物店もあるが、地元の食材や日用品の方が数多く売られており、庶民の台所でもある。観光客をねらいとしたスリやひったくりが多発するエリアであるが、観光スポットとして人気もある。

**◆三日目【4月4日(金)】**

※ホーチミン市内

**観光③：クチトンネル**

ホーチミンから北西へ約50km(車で2時間程)離れており、ベトナム戦争時代にアメリカ軍を翻弄したといわれる全長254kmにも及ぶ巨大な地下トンネル網。トンネルは何の変哲もない普通の雑木林の下に張り巡らされ、完成までに20年の歳月がかかった。トンネルには、炊事場・学校・病院・武器や衣服の製造場などもあり、トンネル内で一通りの生活ができる設備が整備されていた。来場者は実際のトンネルを通ることも体感できる。

ベトナム滞在最後の夜となったこの日は、夕方を自由時間とし、夜には今回の視察の疲れを

癒すべく一行はディナークルーズを堪能した。

**◆四日目【4月5日(土)】**

一行はホーチミン空港より午前11:25発のキャセイパシフィック航空にて出航。行き同様に香港国際空港にて便を乗り換え、午後21:35に羽田空港に到着。4日間を通じ、事故なく無事に帰国することができた。



ホーチミン市内の様子

**【まとめ】**

今回の視察で印象的だったのは、ベトナムの平均年齢27才の数値が示すとおり、ホーチミ



戦争証跡博物館にて

ン市内においても若い世代が大変多く見受けられたということ。街中には若者とオートバイが溢れ、道路ではオートバイによる渋滞が引き起こされるほど活気に満ち、これからの経済成長が確約されているという印象。長い戦争の期間を経ながらも、活力に溢れ、成長を続ける国の空気にふれることは、テレビやネットを通じて得られるモ

ノとは異なると改めて感じた。カイゼン吉田スクールで出会った若いベトナムの方々は、向上心が強く、将来への期待を胸に夢を叶えようと希望に満ち溢れていた。多くの日系企業が進出する中、労働力としてだけでなく、将来の市場としての魅力を感じて進出する企業も増えていることも伺った。今回はホーチミンという限られ

たエリアであったが、機会があれば再度ベトナムを訪れ、今度は政治の街・北のハノイを探訪してみたい。

最後に、視察先の選定はじめ現地での様々な手配など、円滑な催行にご尽力いただいたトップツアーの柳様、そしてご参加いただきました青年経営研究会の皆様に対し、心より御礼を申し上げます。

## 視察参加者名簿

(敬称略・順不同、◎は企画した青年経営研究会・外交委員長)

No	氏名	会社名	役職名
1	磯崎 寛也	(株)アイ・ティ・エイチ	代表取締役
2	峯 亮	(有)峯商店	代表取締役
3	◎埴 徹	(株)ウエルシード	代表取締役
4	中山 眞矢	(株)眞建築設計室	代表取締役
5	須藤 康之	須藤製糸(株)	専務取締役
6	栗山 武志	栗山電気(株)	代表取締役
7	塚本 一也	大曾根タクシー(株)	取締役社長
8	杉崎 和彦	杉崎計器(株)	代表取締役
9	藤澤 昭彦	(株)つくばユーワールド	代表取締役
10	根岸 貴史	(株)大塚製作所	取締役
11	飯田 憲一	常陽建設(株)	代表取締役
12	茅根 弘匡	仲之蔵商事(株)	代表取締役
13	佐武 弘道	シンコウ産業(株)	代表取締役
14	渡邊 高明	サンネット	代表
15	折原 隆之	関彰商事(株)	秘書室秘書グループリーダー
16	柳 美人	トップツアー(株)水戸支店	マネージャー
17	澤畑 英史	(一社)茨城県経営者協会	環境・研修担当課長

(文責：事務局・澤畑(英))

## 労働企画委員会

26年度事業の進捗状況について報告

労働企画委員会(委員長 館岡司氏 (株)日立製作所電力システム社日立事業所副所長)は、5月28日(水)、経営者協会会議室において本年度第1回目となる委員会を開催した。

主な報告・協議事項は、①26年度労働関係事業の活動計画について、②第5期「若手人事労務担当者のための勉強会」の開催について、③労働法セミナーと情報交換・交流会の開催について、④採用支援事業について、であった。

はじめに館岡委員長が「1月に開催した前回委員会では、今後の春季労使交渉のスタンスを協議頂いた。結果的には『上げられる企業』が賃上げを行った春季労使交渉だったのではないか。本日の委員会では本年度の委員会活動についてご協議頂き

たい」と挨拶をされ、その後、報告協議に移った。

①26年度の労働関係事業については、「第7次中期運営要綱」に則り、事業を進めていくことを確認した。

②第5期「若手人事労務担当者のための勉強会」の開催については、「第4期では『仲間づくり』と『相互研鑽』という目的をある程度達成することが出来たと思われる。第5期目となる本年度は、より密度の高い勉強会となるようにアドバイザーをお務め頂く安田尚道常磐大学大学院教授と協議の上、進めて頂きたい」との意見が出され、9月より会をスタートさせることが確認された。

③労働法セミナーと

情報交換・交流会の開催については、顧問弁護士である大和田一雄氏に講師をお務め頂き、労働法の解説(セミナー)に加え、参加企業者による情報交換の機会を設けることとなった。

④採用支援事業については、採用支援サイト「就職MAP」のリニューアルオープンを7月中旬に予定し、また県内大学での学内企業説明会についても順次開催していくこととなった。



## 青年経営研究会

湊線貸切電車で“花見の宴”青年経営研究会5月例会を開催

青年経営研究会(会長 関正樹氏 関彰商事(株)代表取締役社長)は、5月7日(水)、ひたちなか



市において5月例会を開催した。

今回の例会は、交流拡大委員会(委員長 須田勝氏 (株)

ひたちなか健康スポーツコミュニティセンター代表取締役)の主管により、OB、新会員、研究会に興味を持つオブザーブ参加者と会員の交流を図ることをねらいに“花見の宴”として企画された。

当日は、ひたちなか海

浜鉄道湊線の貸切列車で勝田駅から阿字ヶ浦駅間を往復、研究会会員の塚田祐一氏が車内にアレンジした見事な桜が参加者を迎え、オブザーブ参加者6名の自己紹介が行われた。

勝田駅に到着後、会場を移し、茨城県出身の若手お笑いコンビ「すいたんすいこう」のライブショーも行われ、交流を深める例会となった。

## 水戸地区支部

上期事業を検討 平成26年度第1回幹事会を開催

水戸地区支部(支部長 西村寛氏 (株)水戸京成百貨店代表取締役社長)は、5月8日(木)、経協会議室において、平成26年度第1回役員幹事会を開催、上期事業活動の具体化などについて協議を行った。

開催にあたり、西村支部長が、「消費税増税による駆け込み需要の反動もあり、4月の景気は全体的に悪い気がした。更なる増税も予定されているなか、我々は気を引き締めた経営をしていかなければならないと

思う。さて、水戸地区支部は昨年度の会員増強運動も成功し、たくさんの新入会員を迎えることが出来た。新入会員の声も取り入れながら、より魅力のある事業を企画・立案していきたいと思うので、皆様の忌憚のないご意見を頂戴したい」と挨拶。

その後、梅林富士夫幹事長((株)ニコン水戸製作所長)の進行の下、上期事業の具体化を検討し終了した。

- ・行政懇談会 7月  
県警本部長との懇談

- ・研究会 8月  
「0円」で8割をリピーターにする集客術
- ・新会員歓迎会 8月  
研究会と併設
- ・支部総会 9月  
群馬大学大学院教授 片田敏孝氏の講演



## 水戸地区支部

若手社員の組織コミュニケーション力の伸ばし方について学ぶ 水戸地区人事労務担当者会議が平成26年度総会を開催

水戸地区支部(支部長 西村寛氏 (株)水戸京成百貨店代表取締役社長)の水戸地区人事労務担当者会議(代表幹事 川上



康郎氏 茨城交通(株)執行役員総務部長)は、5月16日(金)、茨城県産業会館研修室において、平成26年度総会を開催し、今年度の活動計画案、役員体制などについて協議を行った。また、総会の中で、今年度新たに登録いただいたメンバーの方々が紹介された。

総会終了後には、公開講演会が行われ、(株)話し方研究所の福

田健会長より「若手社員の組織コミュニケーション力の伸ばし方～“イマドキ社員”の特徴・行動傾向を踏まえた指導、サポートのポイント～」と題し、同氏から具体的事例を交えながら、ポイント等をご講演いただいた。

講演会終了後には、講師を交えて懇親会を開催し、メンバー相互の親睦を深め、散会した。

## 県西地区支部

平成26年度第1回役員幹事会を開催

県西地区支部(支部長 佐藤計二氏 日立化成(株)下館事業所長)は、5月21日(水)、ホテ



ル新東において、平成26年度第1回役員幹事会を開催した。

開会にあたり佐藤支部長から、「本年1月より、前任の大野より支部長の大役を引き継いだ、不慣れでもあり皆様のご協力をお願いしたい。また、本日は平成26年度上期の支部活動事業計画について協議いただくが、会員に有益な事業となるよう忌憚のないご意見を頂戴し

たい。」と挨拶があった。その後、幹事長の小島守氏(関彰商事(株)執行役員人事部長)の進行で、平成26年度上期の事業計画について検討を行い、産学懇談会(6/26)、経営研究会(7月下旬～8月)、工場見学会(9～10月：龍ヶ崎・千葉方面)を開催する事が承認された。また、行政懇談会については昨年度同様、開催しないことが確認された。

# 6月は「環境月間」です

会員企業の皆様も、期間中に様々な環境事業を展開しています

6月5日は環境の日(1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められた。国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定め、日本では「環境基本法」(平成5年)が「環境の日」を定めている)です。

「環境基本法」では、事業者及び国民の間に広く環境保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるという「環境の日」の趣旨を明らかにし、国や地方公共団体等において、この趣旨に沿った事業を実施することとしています。

本年も環境月間中に実施されている事業につきまして、会員企業より情報提供いただいた活動をご紹介します。

## ■■ 経協会員企業の主な行事 ■■

(社名50音順)

### ▽鹿島石油・鹿島製油所(神栖市)

①6/1～6/30：環境キャンペーン(環境月間のポスターを掲示する)、②6/1～6/30：アイドリングストップの推進(アイドリングストップの推進を行う)、③6/1～9/30：緑のカーテン活動(ゴーヤおよびパッションフルーツの栽培を実施する(省エネおよび従業員への癒しの提供))、④6/4：廃棄物置場施設調査(廃棄物の分別排出状況の調査、分別排出標識の整備及び施設の点検を行う)、⑤6/11：所内騒音測定(所内16箇所騒音測定を実施する)、⑥6/19：環境美化清掃の実施(近隣行政区の空き缶・ビニール袋等のゴミ拾い清掃を実施する)、⑦6/20：植栽状況調査(所内の樹木等の育成状況及び病害虫の調査を行う)、⑧6/26：花いっぱい運動の推進(所内花壇、職場花壇の花の植替えを実施する(マリーゴールド))

### ▽キヤノン・取手事業所(取手市)

①5/24：環境美化活動(事業所の近隣周辺道路と利根川河川敷(堤防)の空き缶拾いと清掃を近隣の自治会と合同で実施する。例年は6月に実施していますが、近隣小学校の運動会と日程が重なったために今年は5月に実施)、②6/2～6/30：環境月間ポスター掲示(事業所内にポスターを掲示し、啓蒙活動を呼びかける)、③6/21：夏至ライトダウン(事業所内の外灯のライトダウン

の実施 \*環境省が2003年から地球温暖化防止のため、ライトアップ施設や家庭の照明を消すように呼びかけている「CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャンペーン」に参加)

### ▽キヤノンエコロジーインダストリー(坂東市)

①節電・節水ポスター掲示による啓蒙、②蛍光灯間引き・エアコン冷暖房温度設定通達・休日/夜間の生産装置待機電力削減 等による節電活動、③工場内および屋外の清掃・ゴミ拾いによる工場美化活動、④ノーネクタイ可等のビジネス軽装の実施によるクールビズの推進、⑤キヤノン株式会社主催のキヤノン環境大会参加による弊社のリサイクル活動に関する周知と他のリサイクル拠点との情報交換等の実施、⑥エアーフィルター清掃による節電と職場環境の向上

### ▽倉持産業(常総市)

①空調省エネ機器の設置(本社事務所、本社GPセンター、本社液卵工場、茨城GPセンターの空調、冷凍機19台に省電力機器コイルを設置。10%以上の電力削減を図る)、②業務用プラズマクラスター空気清浄器の設置(茨城GPセンターに業務用プラズマクラスター空気清浄器を7台設置。浮遊ほこり、浮遊菌・浮遊ウイルス除去、防カビ菌、脱臭をする。工場の衛生管理の徹底を図る)、③LED電球への交換(直営農場の12鶏舎のうち5鶏舎(900個)は昨年中に完了、5月に2鶏舎(400個)を交換した。残り5鶏舎(900個)もLED購入済。随時交換する)、④電解水素水生



成器の設置(本社事務所給湯器に電解水素水生成器を設置、抗酸化性のある水素を含んだ水に改善。従業員の環境改善を図った)、⑤本社温泉卵工場増設部分のLED化(本社に温泉卵工場の増設。照明はすべてLEDにし、蛍光灯の半分の電力に抑え、作業台の照度500ルクスを確保)、⑥業務用プラズマクラスターの設置(本社GPセンターに業務用プラズマクラスター空気清浄器を7台設置予定、購入済み。浮遊ほこり、浮遊菌・浮遊ウイルス除去、防カビ菌、脱臭をする。工場の衛生管理の徹底を図る)

#### ▽積水ハウス・関東工場(古河市)

①6月:グリーンカーテンの設置(昨年同様にゴーヤのグリーンカーテンを事務所南側の窓の前に設置する)、②6月:ノーカーデー推進月間(夏至の日をノーカーデーとしてCO<sub>2</sub>の削減を行うほか、6月をノーカーデー推進月間として、従業員にマイカー通勤を減らすよう推奨する)、③6月:環境提案月間(全従業員に省エネ・節電に係る環境提案を提出してもらい優秀な提案は表彰する)

#### ▽ニコン・水戸製作所(水戸市)

①6/21~7/7:ライトダウンキャンペーン参加(環境省主催「ライトダウンキャンペーン」に呼びかけ団体として参加)、②内部環境監査(ISO14001に基づく内部監査を実施)、③6/17:環境セミナー「最新エネルギー情勢と企業の動向」と題したセミナーを大井製作所で開催(講師:松本真由美氏)、④環境表彰(環境活動に対して貢献のあった職場、グループ、個人を表彰)、⑤環境フォトコンテスト、環境川柳募集、社内報への担当役員挨拶等の掲載を予定。

#### ▽日立オートモティブシステムズ(ひたちなか市)

①5/1~:クールビズの推進(ノーネクタイ・ノー上着での業務実施を推奨。ご来訪されるお客様にも軽装をご推奨する。冷房エネルギーの抑制)、②6月初旬~:グリーンカーテンの展開(つる性の植物(ゴーヤ等)を執務室の窓に設置し、暑気を防ぐ)、③6/21~6/28:ライトダウン(社屋の社名のネオン消灯)、④6月下旬:工場周辺清掃(工場周辺のゴミ拾いを実施)、⑤6月下旬:場内廃棄物置場の巡視(廃棄物置場の分別状況、整理整頓状況を巡視する)、⑥6月下旬~7/7:エコ七夕の展開(環境に関する願い事、各

自の目標を短冊に記載し、七夕飾りとして展示する)、⑦6月下旬:省エネパトロールの実施(構内巡視により、無駄を点検し、改善する)

#### ▽日立製作所・電力システム社日立事業所(日立市)

①6/2:環境月間朝礼(各職場一斉に環境朝礼を実施)、②6/5:環境の日・環境メッセージを社内ホームページに掲載(環境の日を迎えての電力システム社社長のメッセージを社内のホームページに掲載する)、③6/5:環境の日・環境メッセージの放送(事業所長の環境メッセージを構内で放送する。また環境メッセージをイントラネットで従業員に配信する)、④6月下旬:環境巡視(事業所内の環境リスクポテンシャルの高い箇所について事業所幹部による巡視を行う)、⑤6/1~9/30:省エネパトロール(生産現場、事務所での節電実施状況をパトロールする)、⑥6/1~6/30:環境特定施設の総点検(各職場にて大防法、下水道法などの環境特定施設、監視機器などを総点検する)、⑦6月中旬(予定):河川、通勤道路の清掃(宮田川の周辺を清掃する。また国分工場周辺の通勤道路を多賀高校と合同で清掃する)

#### ▽日立ライフ(日立市)

①環境啓蒙活動の推進(環境月間ポスター及びクールビズ啓発用ポスターの社内掲示。なお、今年度も昨年に引き続きクールビズ期間を5月~10月に拡大して既に実施中)、②環境かわら版・環境月間特集号の発行(1回/2ヶ月の頻度で発行している環境かわら版(A4版2頁)を環境月間特集号としてA3版2頁にして発行)、③環境クイズ(社員及びその家族を対象に環境クイズを実施。全問正解者の中から抽選で記念品を贈呈)、④「CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャンペーン」への参画(環境省が2003年より実施しております、温暖化防止のためにライトアップ施設や家庭での消灯を呼びかける「CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャンペーン」への参画。【CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャンペーン6月22日(夏至の日)、7月7日(七夕)】)、⑤「グリーンカーテン」の推進(日立ライフグループ各拠点でグリーンカーテンを実施し、室温を3~5℃程度低減させる取り組みを実施中。自然の効果を活用し冷房機器の使用に頼らず、夏の暑い日を快適に過ごすことをねらった取り組み。昨

年度より社内表彰制度も導入した)、⑥地球温暖化対策推進国民運動「チャレンジ25キャンペーン」への参画。6月は強化月間として取り組む(内容)オフィスや家庭などにおいて実践できるCO<sub>2</sub>削減に向けた具体的な行動としての「6つのチャレンジ」を実践する。参照⇒<http://www.challenge25.go.jp/>、⑦「エコキャップ収集運動」への参加(2013年6月初～2014年5月末までの1年間で回収したエコキャップをエコキャップ推進協会へ送付する。2013年度の回収個数は約232,200個でワクチン270人分。これまでの累計は約610,240個でワクチン731人分)

#### ▽ぺんてる・茨城工場(小美玉市)

①5/9: 稚アユの放流(工場内の最終槽(排水処理した水を溜めておく槽)に稚アユを放流し、処理水がきれいであることを確認します)、②6/1～6/30: 2013年度環境目標の実績及び2014年度目標の掲示(昨年度の環境目標(CO<sub>2</sub>、電力、水、燃料、紙、廃棄物、リサイクル率、エネルギー消費量)の達成状況と今年度の目標値を掲示し、全従業員の環境保全活動への自覚と更なる推進を啓蒙する)、③6/1～6/30: 花いっぱい運動の推進・緑のカーテンによる冷房設定温度の1℃引き上げ(自部署周辺の花壇の整備実施。併せて夏季暑さ対策の為、窓際にアサガオやゴーヤの苗を植えて、直射日光を遮り冷房設定温度を1℃上げる)、④エアコンフィルター清掃日(毎週金曜日はエアコンフィルター掃除の日)、⑤エンジン式コンプレッサの清掃(夏季のピーク電力(平日昼間の電力)消費を削減するため、エンジン式コンプレッサの清掃を行います)、⑥エア漏れ設備の表示(エア漏れのある設備に表示プレートを提示し、エア洩れ修理が完了するまでは、その設備が不稼働の時はエアを遮断させる)、⑦6/1～7/7: 環境保全活動壁新聞募集と掲示(各部署のQCサークル単位での環境保全活動に関する壁新聞を募集し、優秀な壁新聞については賞を与えるとともに掲示板に掲示する。今年のメインテーマは「節電」です)、⑧6/1～6/30: 工場内環境パトロールの実施(工場内の環境側面について環境管理責任者によるパトロールを実施し、不具合については是正処置を実施する)、⑨6/25: 全社員工場周辺のゴミ拾い(工場周辺の

道路、側溝、林、運動公園、バス停などに捨てられているゴミや空き缶の収集実施)、⑩6月上旬: ホテル観賞会(随時実施)、⑪6/10: 合同朝礼による環境保全啓蒙(工場全体の合同朝礼時、環境保全活動についての啓蒙教育の実施。エコチェックシートでの全従業員への環境保全への意識付け)、⑫6/4: 環境月間記念植樹(工場緑化の為、環境の日に毎年一本植樹を行う)、⑬6月随時: 空調機・チラーの清掃点検(各現場の空調機等の清掃・点検を実施、夏場の電力消費の効率化を図る)、⑭排水管の清掃(各職場の排水管の清掃の実施)、⑮雨ドイの落ち葉除去(作業の安全を充分確保した上で、各職場の雨ドイ、屋根部分の雨水排水口等の落ち葉の除去、清掃)

#### ▽リーテム(東茨城郡茨城町)

①5月～1月: 涸沼環境学習会への協力(全国的に貴重な汽水湖「涸沼」。その涸沼自然公園の自然や生き物を四季にわたって観察する学習会へ協力します)、②6月～10月: スーパークールビズの実施(夏の電力供給および環境に配慮し実施します。スーパークールビズ以外にも「エアコン温度設定を高める」「パソコンの電源をこまめに切る」などの節電をします)、③6月・7月: 環境省「ライトダウンキャンペーン」(6月21日(夏至の日)と7月7日(クールアースデー)の両日の夜8時～10時までの2時間を特別実施日と設定し、照明の一斉消灯を実施します)、④7月24日: 水戸工場見学受入れ(小学生高学年～中学生約30名)、⑤7/31: 都市鉾山発掘ツアー(千葉市民親子約30名で体験型環境教室を開催(工場見学&携帯電話解体標本作り))、⑥6月: 「茨城町の環境を良くする会」への協力(町民、事業者、民間団体及び町が互いに協力し、身近な自然や環境を大切にすることを育むとともに、環境保全行動の定着を促進し、茨城町環境基本計画の目指す環境将来像を実現することを目的とした会へ協力します)

※上記取り組みの詳細については、担当事務局までご連絡下さい。(担当: 澤畑(英)、薄井)

## 企業経営はソーシャルシフトへ 株式会社カスミ 常勤監査役 内田勉氏

当社は“お客さまのために”という企業理念のもと、「さらなる“共感創造”を目指して」を経営課題として取り組んでいます。共感創造とは、従業員・お客様・取引先・株主様等のステークホルダーから“いいね”と言われる経営を目標に、昨年より“ソーシャルシフトの経営”に取り組み始めました。

“お客様は神様です”この言い回しを耳にしたことがあると思いますが、私どもは“お客様はパートナー”として位置づけております。お客様の声を傾聴し、ニーズに沿った商品やサービスを提供する経営を目指しています。

また社内においても、働く従業員が幸せでなければ、社外の方々に幸せを届けることはできません。当社の価値観に共感いただき、自発的に仕事に取り組むことができ、積極的に地域へ貢献できる従業員を目指して欲しいと考えています。価値観を共有し行動することは、結果として他店との差別化にも繋がっていきます。

スーパーマーケットは、1930年代にマイケル・J・カレン氏がショッピングカートを開発し、セルフサービスが展開されたことから始まります。大量陳列やダイレクトメールの活用、ナショナルブランドを大量に仕



入れ、割安な価格で提供することが可能となりました。当時としては画期的で“イノベーション”が起こったといっても過言でなく、お客様の支持も得ました。その後、スーパーマーケットは生活に欠かせない場となり、ジョン・F・ケネディ大統領は、米国とソ連の大きな違いを“スーパーマーケットがあるかないかである”とモノの豊かさで評したほか、消費者には4つの権利(安全である権利・知らされる権利、選択できる権利、意見を反映させる権利)があることを提唱しました。

以降、時代は移り変わり、モノを大量消費する時代から、個のアイデンティティーやライフスタイルを追求するなど、自分の価値観を大切にす時代へと変化して参りました。

人は何のために働くのでしょ

うか？何のために生きるのでしょうか？人それぞれ答えは異なるかもしれませんが、私は“誰かのお役に立ちたい”と思い、過ごしてきました。まだ皆さんはピンとこないかもしれませんが、この問いを胸の片隅において、大学生活を過ごしていただければと思います。本日の話が、皆さんの考えを整理するきっかけとなれば、大変嬉しく思います。

## ウェディング業界・接客業で働くということと求められる資質 ラ・フォレスタ・ディ・マニフィカ 支配人 岡部成昭氏

ウェディング業で働くことの最大の魅力は、多額の金額をお支払いいただくお客様より、披露宴などすべてが終了した際、心からの感謝の言葉を頂くことができるという点である。これは、一生に一回の重要なイベントであるウェディングを、素晴らしいものにしてご提供するという、この仕事ならではの特質による。しかし、それだけの責任を負っている仕事であることも事実である。したがって、生半可な意識では務まらない仕事である。

今日は、ウェディング業にとどまらず接客業・サービス業、すなわち人を対象にする業種において、企業が求める人材の資質についてお話する。サービス業で求められる人材は、お客様によりサービスを提供できる人材であり、お客様の期待を超えるようなサービスができる人材である。そのためには、お客様により印象を持っていただける人材にならないといけない。そこで、人に対して良い印象を与える方法を紹介する。

まずは、「インタレストモデリング」である。これは、端的に言えば、相手の印象に残るように振舞うということである。とくに、目力を演出することが重要である。なぜなら、インパクトのある人は目力を持って



るからである。目力をつけるためには、恥ずかしがらずに相手の目を見て話すことをトレーニングする必要がある。

次に、「3Vの法則」がある。お客様がどのようにサービスの1つ1つを受け取るかの判断のポイントは、「出会いの瞬間」である。それには見た目が重要である。実は、人の第1印象は出会って数秒で決まってしまう。アルバート・メラビアンAlbert Mehrabianの法則ともいわれる3Vの法則では、初めて会う人の印象は、Visual、つまり見た目で判断する部分が55%であり、Vocal、つまり声や言葉遣い、話し方で判断するのは38%、最後にVerbal、つまり言葉の内容はわずかに7%に過ぎない。したがって、就職活動などでも、見た目と話し方や言葉遣いがとても重要になる。

また、人前で話すポイントには3つあり、①強弱をつける、②ペースを変える、③間を取る、である。これらに注意して話すことが大切である。

さらに、好感度の高い人を目指してほしい。そのためには、笑顔、言葉遣い、身だしなみに気を付けてほしい。

これらはすぐに身に付くものではないので、学生時代から自分でトレーニングを続けて、社会人になったときには自信を持って行動できる人間になってもらいたい。

## スパリゾートハワイアンズの挑戦

常磐興産株式会社 顧問 坂本征夫氏

常磐興産は、およそ半世紀前の石炭から石油へというエネルギー革命と原子力発電(に伴う原発事故)という国のエネルギー政策の転換によって、2度にわたり翻弄されてきた。“企業存続”と“地域経済の疲弊”という危機を乗り越えてきた理由をお話したい。

まず、昭和30年代のエネルギー革命によって、石炭産業は市場から撤退命令を下された。これによって、常磐炭鉱が消滅するという強い危機意識が醸成された。そこで、当時の中村社長は、炭鉱延命の構造改革や企業改革ではなく、これからの社会が求めるものに事業を変えていくという、環境適応事業への変革の道を選択した。中村社長は、これから日本は1億総レジャーの時代に入ると考え、強烈な危機意識をバネにして、新規事業に必要な経営資源を積極的に獲得し、短時間で内部環境の不適合状態を解消することを目指した。その結果、昭和41年1月に、日本のハワイである“常磐ハワイアンセンター”を創出した。常磐興産にとっては16番目の子会社として設立したが、結果的に会社の将来の収益基盤を構築することとなった。

こうして、スパリゾートハワイアンズは成功裡に推移してきたが、その要因は、常磐文化(常

磐DNA)ともいえる以下の5つにある。第1は「一山一家」である。これは、炭鉱という常に死を背中合わせの中で、総親和・総努力で様々な危機を乗り越え

てきた歴史から築かれてきた、常磐の精神的支柱である。第2は「手作り」である。炭鉱は自己完結型企业であり、すべてを自分達でつくるという歴史がある。そこから、ハワイアンズでも、フラガールなどを自分たちで育て上げてきた。第3は「土着」である。常磐興産は地域社会と一体化した会社であり、二代、三代続けて社員になっている家も多い。いわき市の活性化を活性化したあとに、常磐興産の明日を構築するという発想で経営を行ってきた。第4は「大衆」である。これは、常磐興産は“大衆文化圏”で生息していくということである。第5は「適時適切」である。“老舗”とは“改革”であり、“志”は変わらないが、時代に応じたさまざまなマーケティングによる変革は不可欠である。そのため、平成2年に名称を現在の「スパリゾートハワイアンズ」に改称し、温泉施設の新商品も次々と投入し



てきた。これらはすべて、愚直なスタッフがハワイアンズの成長を支えてきたことの証左でもある。

ところが、2011年3月11日に、東日本大震災が発生し、ハワイアンズも被災した。しかし、もっと深刻だったのは、その後の風評被害と、4月11日の直下型余震であり、204日間の長期休業を余儀なくされた。しかし、その間もフラガール全国キャラバンを行い、さらに社員を解雇せずホテル・レストランに研修生として派遣して接遇レベル向上を図るなど、地道に努力を続けた。そして平成24年2月8日に新ホテルと共にグランドオープンを行うことができた。その後、復興支援団体の来館などもあるが、風評被害によりコアゲストは大幅に減少している。しかし、国や自治体に頼むだけでなく自分たちで生き残っていく道を構築して努力を続けていきたい。

# 『会員増強運動2014』の状況

## 5月も順調に新会員が増加

### 1. 5月の状況

5月は、支部役員・幹事の皆様、理事参与の皆様からのご紹介もあり、入会16社、退会3社で前月比プラス13社となり、2ヶ月連続で10社以上の入会をいただきました。

会員の皆様のご協力に感謝いたします。

### 2. 『会員増強運動2014』について。

## 『2014会員増強運動』の推進状況

### 1. 会員の状況（5月31日現在）

支 部 項 目	支 部									合 計	
	県 北	日 立	常陸・ 那珂	水 戸	土浦・石岡 つくば	取手・ 龍ヶ崎	県 西	古河・ 坂東	鹿 行		
25年度末 会員数	38	85	73	243	118	54	62	51	93	817	
入会数		3	2	5	5	8	1		5	29	
退会数	1	2	1	1			2			7	
会員数	37	86	74	247	123	62	61	51	98	839	
										前年度比	+ 22

平成26年度目標 870

目標比 ▲ 31

平成26年度は、協会の事業運営の指針であります「第7次中期運営要綱」の初年度にあたります。

今後ますます、会員の皆様の相互啓発やビジネス交流の活性化を加速させるために、また「数は力なり」でこれまで以上に行政等に対する政策提言力の強化を図るためにも、平成26年度も引続き『会員増強運動2014』に取り組んでおります。

今年度は、本部役員等に限らず、幅広くすべての会員の皆様から、お知り合いなどをご紹介いただき、運動を盛り上げてまいります。

つきましては、会員の皆様におかれましては、当協会にご入会いただけそうなお知り合いなどがいらっしゃるいましたら、1社でも結構ですので、是非お誘いいただき、右ページの「紹介票」にて事務局までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

※FAXのほか必要事項をご記載いただければ電子メールでも結構です。

メールアドレス：info@ikk.or.jp

なお、「会員増強運動2014」の進捗状況等につきましては、この「茨城経協」を通じて、毎月会員の皆様へお知らせしてまいります。ご協力のほど重ねてお願い申し上げます。

# 【会員増強運動2014】 入会见込先 紹介票

茨城県経営者協会 行き

FAX : 029-224-1109

御社名	
役職氏名	
TEL	

“会員増強運動 2014” の入会见込先として、下記のとおりご紹介致します。

## 【入会见込先の情報】

No.	会社名	電話番号	先方担当者（役職氏名）	連絡方法（○印）
1			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
2			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
3			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
4			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
5			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由

## 【備考】

--

※恐縮ですが、コピー、ご記入の上、FAXくださいますようお願いいたします。

## 新入会員紹介

### 青木重機運輸株式会社

■代表取締役 青木 繁政



**Data**  
所在地／筑西市神分 101-1  
TEL 0296-24-1211  
FAX 0296-22-5161  
業種／クレーン建設業  
従業員／40名

**Appeal point**

「日日全力、日日創意、日日共生」を社是とし、クレーン作業、重量物取扱一式、土留基礎坑工事により、社会貢献させて頂いております。

小型から大型までクレーン・サービスの事なら、業界唯一の実績と信頼の当社にご相談ください。

### 株式会社イサカホーム

■井坂 一二



**Data**  
所在地／茨城県水戸市笠原町 682-13  
TEL 029-305-3118  
FAX 029-243-8620  
業種／住宅建築・リフォーム・不動産・塗装  
従業員／19名

**Appeal point**

イサカホームは、昭和44年に笠間の地で新築住宅を中心に創業しました。その後、平成19年に水戸市笠原町に住宅展示場兼本社を建築し、省エネで快適な住宅環境を目指した住宅の建築を行っています。

また、土地の分譲、仲介、リフォーム、屋根や外壁の塗装部門、そして施主様へお引き渡した後のアフターサービス体制も充実させ、住まいについても相談にのれる様な体制を整えております。

### カーレポ株式会社

■代表取締役社長 赤須 洋一郎



**Data**  
所在地／水戸市桜川 1-8-29  
TEL 029-300-2525  
FAX 029-300-2424  
業種／自動車整備業、自動車リサイクル業  
従業員／43名

**Appeal point**

弊社は、輸入車の納車前点検整備業という特定メーカーの協力会社として平成3年に出発しました。そして平成18年、「後世の人々の為、新しい社会環境に責任のある役割を果たすこと」を理念とし、法に基づく自動車リサイクル事業をスタートさせました。入口から出口までの循環型オートアフターサービス業として現在に至っております。

常に私たちの国、社員とその家族、そして地域社会から必要とされる企業であることを目指し、地球環境、自動車産業へ貢献できる様、邁進致します。



## 川村学園女子大学

■学長 熊谷 園子



**Data** 所在地／千葉県我孫子市下ヶ戸  
1133 番地  
TEL 04-7183-5553  
FAX 04-7183-6742  
業種／学校教育  
従業員／128名

**Appeal point**

本学母体の川村学園は、大正時代に「感謝の心」を基盤とした「自覚ある女性」の育成と「社会への奉仕」を建学理念として誕生しました。以来、本学は3学部に大学院を加えた文科系総合大学として発展してきました。激しく変化する社会を柔軟に乗り越えるための「教養教育」と社会に貢献するための「資格教育」を柱とした教育を展開しています。

学生の約3割は茨城県出身者で構成されています。未来ある学生を大切に教育し、地域や企業にとって魅力ある人材を送り出したいと考えております。

## 株式会社宏機製作所

■代表取締役 大賀 奉昭



**Data** 所在地／守谷市百合ヶ丘1丁目2411-2  
TEL 0297-48-7251  
FAX 0297-48-7252  
業種／プラスチック製品の射出成形及び組立  
従業員／19名

**Appeal point**

存在を期待される会社づくりを理念に、プラスチック成形加工、アッセンブリー加工、フィルム加飾新技術を基に世界に通用する製品をつくり社会に貢献する、を基本方針に自動車部品、業務用加湿器の製造、販売に取り組んで参りました。

変化の対応として、フィルム加飾新技術の新工場、成形機の購入を行い試作開発、量産体制を確立し、新製品受注活動を推進しています。

お客様、社会に「存在を期待される会社」を目指します。

## 株式会社橋本ブラシ製作所

■代表取締役 橋本 秀昭



**Data** 所在地／稲敷郡美浦村茂呂 1049-1  
TEL 029-885-5125  
FAX 029-885-7738  
業種／ねじりブラシ専門製造工場及び、ブラシ全般販売  
従業員／32名

**Appeal point**

昭和30年創業以来、ねじりブラシの専門工場として当社のブラシは、工業用、食品工業用、介護用、民生用と幅広い分野で活躍しております。使用する毛材は耐熱、耐薬、砥粒等の化学繊維、金属繊維、植物繊維等多種に亘り、様々な工法特許にてお客様のご要望にお応えする為、従業員一同日々努力しております。また、この度「毛抜け事故を回避したブラシ」の開発に成功し更なるご要望にお応えして参ります。

## 【数に込められた 思いと意味】

3

### 人づきあい

k2マネジメント代表取締役 葛田 一雄

人は一人では生きられない。人づきあいは風采の証しでもある。人づきあいの良し悪しが人品を決めかねない。人品とは、人柄、品性である。人づきあいつきものなのが、寿ぎ、祝い、見舞いである。

#### 1. 寿ぐ

暦は自然の仕組みと結びついている。太陽の出没によって日、月の満ち欠けによって月、稲の成長によって季節そして年をはかる観念を生み出し、日、月、年の周期を組み合わせて暦を立てた。

東洋の暦の柱は十干十二支(じっかんじゅうにし)である。干支(かんし)とは十干(じっかん)・十二支(じゅうにし)のことである。干支は暦だけでなく、時刻や方位を表すためにも用いられた。干支には兄(え)弟(と)の意味があり、「えと」ということもある。十干は、甲(きのえ)乙(きのと)丙(ひのえ)丁(ひのと)戊(つちのえ)己(つちのと)庚(かのえ)辛(かのと)壬(みずのえ)癸(みずのと)である。十二支は、子(ね)丑(うし)寅(とら)卯(う)辰(たつ)巳(み)午(うま)未(ひつじ)申(さる)酉(とり)戌(いぬ)亥(い)である。

出生、結婚、羅病、死亡、こうしたことは自分独りのことのようにみえても多くの人のかわりの上に成り立っている。人生は、段階に応じて儀式があり、儀式を通過した証が「人生の履歴書」である。接待の本質は、人生の儀式を、さながら自分のこととして共感することにある。

長寿を寿ぐ言葉がある。還暦(かんれき)、喜寿(きじゅ)、傘寿(さんじゅ)、米寿(べいじゅ)、卒寿(そつじゅ)そして白寿(はくじゅ)である。還暦は60年で生まれた年の干支に還るから数えて年61歳の称である。喜の字の草体が七十七と読まれるところから77歳のことを喜寿、喜の字の祝いなどという。傘寿は、傘の略字が八十と読めるところから80歳のことである。卒寿は卒の通用異体字が九十と読まれるところから90歳のこと、白寿は百に字から1をとれば白という字となることから99歳のことである。

#### 2. 祝う

祝いは暦を寿ぐことである。お中元、お歳暮、誕生日、引越し祝い、開店祝いなど贈り物がつきものである。人に物を差し

上げることを贈呈という。心をこめて人に物を届けることが贈るである。誕生日、結婚などの記念日など個人によって異なるものがあるし、会社を対象とすると周年の創立記念日や上場記念日などがある。

画一的に祝うものが節句である。節日には、五節句のほか元旦(がたん)、白馬(あおうま)、踏歌(とうか)、相撲(すまい)、豊明(とよのあかり)などがある。元日の朝を元旦という。白馬は宮廷年中行事の1つである。正月七日、朝廷で白馬を庭上に引き出して天覧のあとに群臣に宴を賜る儀式である。庶民は人日(じんじつ)として七種(ななくさ)の粥(かゆ)を祝っていた。踏歌は足を踏みならして歌い舞う集団舞踊である。中国の隋や唐の民間行事が伝来したものである。相撲は奈良、平安時代、毎年七月の天皇が宮中で相撲を観覧する行事である。豊明は奈良時代以降、新嘗祭(いなめさい)の翌日、宮中で行われた宴会である。天皇が豊樂殿に出て新穀を食し、諸臣にも賜りがあった。

祭りは、そもそも、穀物が実ったことに神に感謝し、人々

が集い豊年満作を祝う行事である。秋に祭りが多いのはそのためである。秋と言う字からして、禾編に火と書くのも農耕民族ならではのものである。禾編の禾は、穀物とくに稲のことである。稲がたわわに実って田圃の上を風が吹き、稲穂がゆさゆさ揺れる様がまるで炎のようということから火をつけて秋という字になった。

節は月の半分の十五日間のことである。十五日間という興行では何といても国技の相撲(すもう)である。相撲はかつて年に四場所の興行をしていた時代があった。初場所、夏場所、秋場所そして冬場所である。初場所の初とは春のこと、初春を寿ぎなどと年賀状に記す春の意味の初である。土俵の上にある四つの房(ふさ)にしても季節の色を表している。青房(あおぶさ)は春、朱房(あかぶさ)は夏、白房(しろぶさ)は秋、玄房(くろぶさ)は冬を表している。例えば、青春(せいしゅん)、朱夏(しゅか)、白秋(はくあき)、玄冬(げんとう)という。

相撲取りが紋付を羽織ることができるのは十両以上の力士である。これも羽織は武家階級か農家の場合では総庄屋などに限られていた江戸時代の名残をとどめている風習である。贈り物をするとき、羽織というわけにはいかないにしても、気持ちをこめて正装のところで応対したいものである。

### 3. 見舞う

災害を受けたり、病気にかかったりした人を訪れ、あるいは手紙で問い慰め、また、花な

どを贈ることが見舞うである。癒すと慰めとでは違いがある。病気や傷を治し、あるいは心の悩みなどを解消することが癒すである。見舞いは癒すことではない。癒すことは容易いことではない。医療関係者は癒すための専門家であるが、専門家としても癒すことは格闘を強いられる。慰めるとは、不満な心を沈め満足させることあるいは気をまぎらすことをいう。

見舞う相手の気持ちは陰気である。それだからからといって見舞う側が陰気になることはない。怪我や病気によって特定の期間、陰の場にいるだけのことであって、いずれ陽の元気な場に出ると想って見舞いたい。

しかし、面倒な見舞いもある。不治の病者を見舞うときにはことのほか配慮が必要となる。配慮とは慰め顔の慰め所である。慰め顔はなぐさめるような顔つきをいい、慰めとなることが慰め所である。見舞う心は華やぎではないし、空元気を出してもない。見舞いは慰めであるから、「和ぐし(おだやかなこと)」の気持ちで接するといふ。

見舞いは思いやりである。思いやりとは思いやることであるが、気をつくことあるいは自分の身に比べて人の身について思うことも言う。相手の立場や気持ちを理解しようとする心が思いやりである。

見舞いには草を持参するしたら七草がいい。草は木質が発達しないで柔らかな茎を有するから見舞いには不向きという考えもあるが、七草はいい。秋の

七草は、秋の野に咲く代表的な七草の草である。萩、薄、葛、撫子(なでしこ)、女郎花(おみなえし)、藤袴(ふじばかま)、桔梗(ききょう)がそうだ。春の七草は正月七日に摘み採って七草粥に入れるからよく知られている。若菜、芹(せり)、薺(なずな)、御形(ごぎょう)、はこべ、仏座(ほとけのぞ)、菘(すずな)、蘿蔔(すずしろ)である。

花は根づく鉢植えは避けたい。四君子(しくんし)も避けたい。梅、竹、蘭、菊は気高さの象徴とされてきた。それゆえに異称が四君子である。気高いのだけれど見舞いには相応しくない。梅は、未熟な果実を食するとしばしば有害なことから見舞いには相応しくない。竹は、根が張るところから好ましくない。菊は皇室の御印であることもあるが、荘厳さを表現する花として葬送に飾られるからである。蘭薫といえるほどの香りが強い蘭も避けたい。

見舞いに付き物なのが果物や菓子の類である。病気によっては制限されている食べ物があるので事前の確認が必要である。多量のものには回復の長さを暗示するから少量がよい。見舞いに金品を贈ることがあるが、怪我・病気見舞いには金品は面倒だ。怪我・病気のときは本人あるいは家族にとって金品が入用であるからとか、何を持っていけばいいか分からないなどという理由で贈るものではない。よほどの近しい者でないかぎり素直に受け取れないのが金品である。

先日、母校である茨城大学で社会連携センターが設立され、記念シンポジウムに登壇しました。筑波大学でも、学生の地域参加を促すT-ACTボランティアというプロジェクトが盛んです。地域連携は大学経営に不可欠な要素なようです。企業の地域貢献も、1991年にいわゆる社会貢献ブームが始まってから四半世紀近くすぎました。私も91年から7年間、茨城経協で地域貢献推進に関わらせていただき、それが今のNPOの仕事につながっているわけですが、90年代の企業の地域貢献としては、寄付、社員のボランティアに対する支援、本業での貢献の3つがあるとされてきました。当初は、文化活動支援など、どちらかというと本業と切り離れた活動にスポットがあたっていました。2000年代に入りCSR（企業の社会的責任）が言われるようになると、自社の障害者雇用や環境対策など、本業面での取り組みに重点が移ってきました。そして、今後どうなるかということですが、社員の自発的な活動と企業の本業面の

## 地域貢献の新たなトレンド

茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事 横田 能洋

貢献の融合という流れが生まれるのではと期待します。

### ○ファンドレイズの要はフレンドづくり

前述の記念シンポジウムで基調講演をされた企業の方が、「これまでは本社で方針を決めて各店舗を統制していたが、今後はユーザーと日々接している社員の知恵やアイデアを生かした自立型組織にシフトする、消費者を囲い込むのではなく共感してもらえるファンを増やすことが重要」とはなされたのが印象的でした。では、共感力を養うにはどうすればいいのでしょうか。この発想は、NPOのトレンドにも重なります。

NPOは、運営資金を獲得（ファンドレイズといいます）しようとする際に、いくら資金支援してくださいと言いがちです。またNPOに助成している財団も、何百万円かの資金を、資金を必要とする団体に配ればいいという感覚があります。確かに資金は重要ですが、それだけでは一過性の協力関係に留まります。資金の前に活動に共感してもらいファンを増やすこと、この方が関係が続くし、まわりにも広がります。このような仲間づくりをフレンドレイズと言います。財団も、それなり

にしっかりした団体を選んで渡すだけでなく、課題解決に多様な主体が協力して関わるような動きを支援する方がより多くの成果を生み出せます。私達が各界の皆さんと協働運営している「いばらき未来基金」も、共感を生み出すこと、そして、「自分が共感しているこの活動を一緒に応援しないか」と仲間づくりに貢献するフレンドレイザーを学校、職場、地域で増やそうとしています。

### ○社員の共感力を高める仕掛け

企業におけるフレンドレイザーの活動事例として、社員有志による社会貢献倶楽部があります。まず給与の端数を寄付することに賛同する社員を募り資金をプールします。次にNPOセンターなどの協力を得て寄付先候補リストをつくり、倶楽部メンバーの投票で寄付先を決めて寄付するというものです。この活動のよいところは、地域で活動している人やそれを応援している同僚の活動を社員が知ることができ、会社による指示ではなく、呼びかけへの共感によって自ら行動する機会が生まれるということです。寄付を受ける団体も、寄付をする倶楽部も互いにファンの関係になることができます。ぜひご検討下さい。

セミナー名	日 時	テーマ・内容	講 師	会 場
マナーアップ&クレーム対応セミナー	7月9日(水) 9:30～16:30 7,000円	状況に応じたビジネスマナーを、実践しながら学ぶ ①第一印象をよくするために ②挨拶とその重要性 ③言葉遣い ④電話対応 ⑤来客対応/訪問のマナー ⑥クレーム対応	(株)EMMY 代表取締役 渡辺 満枝氏	茨城県 産業会館
第5回マネジメント力向上研修	①7月11日(金) ②7月17日(木) ③7月24日(木) 10:00～17:00 全講 20,000円 単講 8,000円	職場の活力を生み出す“人への接し方”を学ぶ ①人間関係をよくするための基本心得 ②人の問題の処理の仕方の応用 ③部下指導のスキル－コーチングとリーダーシップ－	日本産業訓練協会 研修部長 府川 亮一氏	ホテル レイクビュー 水戸
第13期マネジメントマスターコース	①7月15日(火) ②8月4日(月) ③9月19日(金) ④10月9日(木) 13:30～17:00 全講 32,000円	アイエスエフネットグループに学び、自社に活かす ①素晴らしい経営の実現 ②アイエスエフネットグループの素晴らしさを探る ③アイエスエフネットグループの現地視察 ④アイエスエフネットグループからの学びを自社に活かすワークショップ	①人と経営研究所 所長 大久保 寛司氏 ②糺ヤマオコーポレーション 代表取締役 鬼澤 慎人氏 ③コーディネーター 鬼澤 慎人氏 ④NPO法人日本ファシリテーション協会 前会長 徳田 太郎氏	水戸プラザホテル
職場リーダーグリードアップセミナー	8月7日(木) 9:30～17:00 8,000円	部下のやる気と企業の活力を高めるノウハウ	(株)ビジネスラポール 代表取締役 鈴木 丈織氏	茨城県産業会館

営業社員 セミナー	① 8月19日(火) ② 8月26日(火) 9:30 ~ 16:30 全講 14,000円 単講 8,000円	①アポイントから成約までのポ イント、アフターフォロー ②新規開拓営業の極意	浦上 俊司氏	水戸プラザホテル
第4回ヒューマ ンエラー防止セ ミナー	10月15日(水) 9:30 ~ 17:00 7,000円	錯覚や行動を把握し、重大事故 を防ぐポイント	関西大学社会安全学部 社会安全研究科教授 中村 隆宏氏	三の丸ホテル
経理セミナー (基礎編)	11月7日(金) 9:00 ~ 16:30 8,000円	わかりやすい！経理の基礎講座	木村税理会計事務所所長 木村 聡子氏	水戸京成ホテル
経理セミナー (応用編)	11月20日(木) 9:00 ~ 16:30 8,000円	簡単にわかる！決算書の見方・ 読み方	財務リスク研究所(株) 代表取締役 横山 悟一氏	水戸京成ホテル

# 地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。  
そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。  
地域エリアの皆様とともに、  
未来に向かって力強く前進いたします。

 筑波銀行は地域復興支援プロジェクト『あゆみ』に取り組んでいます。

<http://www.tsukubabank.co.jp>



**筑波銀行**  
Tsukuba Bank

心と心のつながりで価値・創造・提案企業を目指します

機械・工具・伝動・管材

 **小川産業株式会社**

<http://www.osc-web.co.jp/>

【OSショップ】YAHOO店・楽天市場店

■本社 北茨城市機原町本町3-1-8 ■つくば出張所 つくば市北条4679-1  
**0293-42-1200 029-850-7500**

心を込めて、信頼できるカーライフ  
**茨城トヨタ**

**CROWN**  
"ATHLETE"  
SERIES



クラウン アスリート

**茨城トヨタ自動車株式会社**

水戸市千波町1887 〒310-0851  
TEL 0120-090110  
<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



【安心】の東栄グループ 機械・資材・工具・溶接機械

**東栄機工株式会社**

<http://www.toueikikou.co.jp/>

本社 〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-18

TEL (0299)96-6023(代) FAX (0299)96-5630

ひたちなか営業所 〒312-0004 茨城県ひたちなか市長砂字塙123-2

TEL (029)219-5577(代) FAX (029)219-5588

**東栄グループ**

工業用ファスナー・ボルト

産業機械レンタル・修理

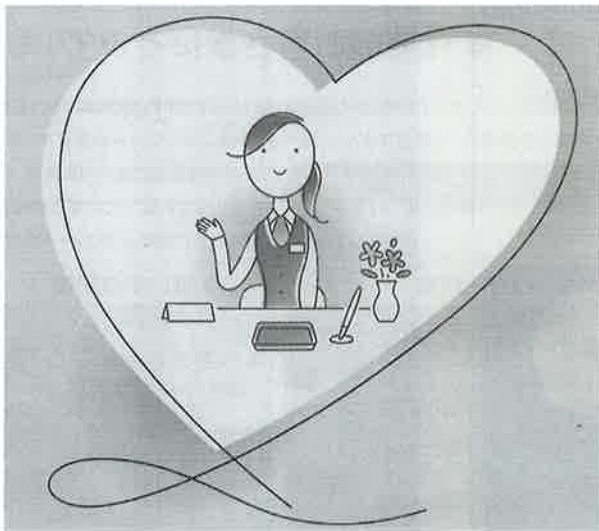
プロスパー洗洋株式会社 リペア・カサハラ株式会社

<http://www.neji-pros.jp/>

〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-19 〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-16

TEL (0299)94-3366 FAX (0299)94-3666 TEL (0299)97-1050 FAX (0299)97-2776

## 人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも  
ご利用しやすい銀行を  
めざしています。

ベストパートナーバンク



## 経営労務相談(無料)のご案内

当協会では経営労務相談の機能を強化し、会員企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えております。

協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な経営課題の解決に向けたアドバイスを致します。

**開催日** 毎週木曜日 ①10:00~12:00  
(祝日は除く) ②14:00~16:00

**会場** 経営者協会・相談室  
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

**申込方法** 下記TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

### Flow chart

**賃金関係** 未払い残業代を請求されたがどのように対応すればよいのか?

**労働組合** 従業員の一人が加盟した労働組合から団体交渉を申し入れられた。交渉にどのように向かえばよいのか?

**助成金制度** 人員整理を回避するためにはどのような方法があるのか? 活用できる助成金制度について教えて欲しい。

**人事労務** 人事制度の変更を行うとしたが、従業員から不利益変更ではないかと訴えがあった。

**精神疾病** メンタル不全の従業員がトラブルを起こしたがどのように対応すべきか?

**その他** 事業承継の問題、資金繰りの問題、経営に関することの課題全般の悩みについて。

人事労務相談室  
が総合窓口  
(ワンストップ)

課題解決に最適な専門家を紹介

協会・顧問弁護士

清水謙弁護士  
大和田一雄弁護士

社会保険労務士

税理士

経営  
コンサルタント

その他  
各専門家

お問い合わせ：一般社団法人茨城県経営者協会 事務局 (後藤)  
TEL:029-221-5301 FAX:029-224-1109  
E-mail gotou@ikk.or.jp